

# 上手な受診で医療費節約



近年、「待ち時間が少なそうだから」「夜間の方が空いているから」などの理由で、軽い症状にもかかわらず、休日や夜間に病院の救急外来を訪れるケースも増えています。これにより、緊急性の高い重症の人の治療に支障をきたすなどの問題が出てきています。

皆さんが適切な医療を受けることが、医療費の増加を防ぐことにもつながります。医療のかかり方や薬のもらい方を見直し、適正な受診を心がけましょう。

## 医療費節約のポイント

### ①休日や夜間の受診を見直しましょう

休日や夜間などの時間外受診は、急病などのやむをえない場合を除き避けましょう。急病人の治療に支障をきたし、時間外に受診すると割増料金がかかります。

平日の時間内に受診できないか、もう一度考えましょう。

#### ●子どもの急病で心配なときは電話相談を

夜間や休日の子どもの急病で心配なときは、#8000に、IP電話やアナログ回線の方は、096-364-9999を利用しましょう。経験豊富な看護師が対応します。

■利用時間 午後7時～午前0時

### ②重複受診はやめましょう

同じ病気で複数の医療機関を受診すると、医療費を増やしてしまうだけでなく、重複する検査や投薬が、からだに負担を与えてしまう心配もあります。

気なることは遠慮せずに「かかりつけ医」に相談しましょう。

### ③薬のもらいすぎには注意しましょう

薬は用量、用法を守って服用しなければ、効果を得られないばかりか、症状が悪化することもあります。むやみに薬を欲しがらず、医師の診断と処方信頼しましょう。

#### ●ジェネリック医薬品を利用しましょう

ジェネリック医薬品とは、最初に作られた薬（新薬：先発医薬品）の特許終了後に、新薬と同じ有効成分をもつ薬として、厚生労働省の認可のもとで作られた薬です。

新薬と違い開発コストがかからない分、安く提供することができます。

利用する際は、医師や薬剤師に相談し、十分な説明を受けてから利用してください。

#### ■お知らせ

平成24年度国民健康保険被保険者証を3月14日に発送しました。まだお手元に届いていない人はご連絡ください。

☎福祉保健介護課 国保医療係 (☎3139)

4月号より、毎月の医療費や介護保険にかかった費用を掲載しています。  
また、今後は定期的に前年対比や県内での順位なども掲載していく予定です。

## 医療費・介護費情報（H23.12月分） ※被保険者数は12月末の人数を掲載しています。

国民健康保険		後期高齢者医療保険		介護保険	
被保険者数	4,504人	被保険者数	2,477人	被保険者数	4,511人
				認定者数	916人
入院	4,036万3千円	入院	1億349万7千円	居宅サービス	5563万2千円
入院外	4551万8千円	入院外	6,364万7千円	地域密着型サービス	1,242万8千円
調剤	1,589万7千円	調剤	2,250万8千円	施設サービス	4,697万7千円
食事療養・生活療養	260万円	食事療養・生活療養	620万5千円	所定入所者サービス	419万4千円
その他	66万1千円	その他	223万6千円	その他	280万7千円
合計	1億503万9千円	合計	1億9,809万3千円	合計	1億2,203万8千円

※本人負担分を除いた費用を掲載しています。